

ポリマーの生分解メカニズムと 生分解性ポリマーの高性能化・高機能化

1名分料金で
2人目無料

- ◆日時: 2020年9月9日(水) 12:30~16:30
◆会場: 滋慶医療科学大学院大学 9F 講義室1
◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円**
- ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円)**

※学生のご参加は、1名につき受講料11,000円です。
(ただし、企業に籍者や教員は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 京都工芸繊維大学 バイオベースマテリアル学専攻 教授 博士(工学) 櫻井 伸一 氏

《習得できる知識》

- ・ポリマーの生分解プロセス(酵素分解、自然環境中での分解など)
- ・生分解性ポリマーの特徴
- ・具体的な生分解性ポリマー(ポリアミド4、ポリカプロラクトン、
ポリ乳酸、バクテリアポリエステルなどのバイオベースポリマー)
- ・生分解性ポリマーの繊維化、微粒子化、多孔化
- ・生分解にともなうナノ構造の変化
- ・生分解にともなう物性の変化
- ・生分解性ポリマーの改質や表面処理、
他の材料との複合化による、高性能化・高機能化

《講座のポイント》

昨今、深刻な海洋汚染を引き起こすマイクロプラスチックの問題が大きくクローズアップされ、衆目を集めている。この問題を解決するための処方の一つとして、生分解性ポリマーが再び脚光を浴びている。本講では、生分解性ポリマーとはどのようなものであり、どのようなプロセスを経て分解されるか、また、分解にともなう材料物性がどのように変化するか、などの項目について、基礎を解説する。

《プログラム》

1. プラスチックの環境対応技術概説
 - 1) 海洋流出の現状
 - 2) リサイクル、ゴミ発電
 - 3) バイオベースポリマー
(植物由来スーパーエンブラ、植物由来PETボトルなど)
 - 4) 農業分野での生分解性プラスチックの重要性

2. ポリマーの生分解プロセス

- 1) 酵素分解と微生物分解(PETの酵素分解を含む)
- 2) 自然環境中での分解の具体的事例(海水中での分解を含む)
- 3) 生分解評価法

3. 生分解性ポリマーの特徴

- 1) 分子構造の特徴
- 2) 具体的な生分解性ポリマー
 - a) ポリアミド4
 - b) ポリカプロラクトン
 - c) バクテリアポリエステル
 - d) その他のバイオベースポリマー

4. 生分解にともなう変化

- 1) ナノ構造の変化
- 2) 物性の変化

5. 生分解性ポリマーの高性能化・高機能化

- 1) 改質や表面処理、他の材料との複合化
- 2) 難燃性の付与

6. まとめ

【質疑応答・名刺交換】

『生分解性ポリマー』【大阪開催】セミナー申込書

FAX: 03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記の上、FAXにてお送りください。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。
セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>